

會 務 報 告

第 29 卷 第 10 號 昭和 18 年 10 月

役 員 會

第 8 回理事會 (昭. 18. 8. 23.)

出席者: 黒河内會長, 鈴木, 内海兩副會長, 瀧淵理事
外 3 名, 中村書記長, 小野寺庶務主任外 2 名

議 事

1. 全會員の創意工夫による急速飛行場建設の研究に關する論文を懸賞を以て募集し審査の結果優秀なるものは之を建議し又著者に對しては賞金を贈呈することとせり
2. 懸賞募集は土木學會誌會告に依ることとし文案其他に關しては調査部長に一任することとせり

總 務 部 記 事

第 41 回對爆調査委員會 (昭. 18. 8. 27.)

出席者: 釘宮委員長, 田中委員外 2 名, 小野寺庶務主任

協議事項

1. 淨法寺委員提出の 1-3-3 木造建物に對する焼夷彈の貫徹に關する資料の逐上審議を行ひたり
2. 次回より文獻蒐集の外に土木防空施設に就て検討することとせり

第 1 回規格番號調査委員會 (昭. 18. 8. 10.)

出席者: 青木委員長, 村上委員, 星野陽一君, 小野寺庶務主任

協議事項

1. 規格番號の整備方針に就き意見の交換を行ひたり
2. 委員に星野陽一君, 山内一郎君其他若干名を追加することとせり

土木學會文化映建委員會 (昭. 18. 8. 11.)

出席者: 青木委員長, 金森委員外 5 名, 小野寺庶務主任

協議事項

1. 本委員會存続の可否に就て討議の結果戰時下に適應せる委員會 (假稱土木技術普及委員會) に發展改組の上存続するを可とし之を委員長より理事會に諮ることとせり

調 査 部 記 事

第 1 回戰時規格特別委員會 (昭. 18. 8. 26.)

出席者: 青山委員長, 田中特別委員長, 吉田特別委員外 3 名, 菊池, 佐藤兩幹事, 村上事務幹事, 信澤調査部長, 中村書記長, 小野寺庶務主任

協議事項

1. 田中特別委員長より「土木工作物に對する戰時規格實施心得」及「土木學會戰時規格答申」原案を提出し逐上審議を行ひたり

第 2 回戰時規格特別委員會 (昭. 18. 9. 9.)

出席者: 青山委員長, 田中特別委員長, 吉田特別委員外 5 名, 佐藤, 平井幹事, 村上, 逸見事務幹事, 黒河内會長, 信澤調査部長, 中村書記長, 小野寺庶務主任

協議事項

1. 吉田, 沼田兩特別委員より提出の原案に對する審議を行ひたり
2. 田中特別委員長より提出の戰時規格參考資料 (I) 及「土木工作物の耐久命數低下に關する答申」案に對する審議を行ひたり
3. 答申案は田中特別委員長, 菊池, 佐藤兩幹事に於て形式を統一し作成することとせり

第 3 回潮害調査委員會 (昭. 18. 9. 10.)

出席者: 金子委員長, 青木前理事, 黒田委員外 6 名, 石井幹事, 小野寺庶務主任

報告及決定事項

1. 黒田委員分擔事項近日終了の見込
2. 市村, 桑原委員分擔事項大體終了
3. 松尾委員分擔事項完了
4. 水谷委員分擔事項 10 月末日終了の豫定
5. 被害例の外に應急復舊, 復舊工事に就いても記述すること
6. 2, 3 委員及關係地方官廳より特別委員を追加すること
7. 青木君を副委員長に推すこと

編輯部記事

第8回會議編輯委員會(昭. 18. 9. 8.)

出席者: 福田委員長, 東, 須之内, 星野, 本間, 坂上, 荒井各委員, 村上編輯主任, 監谷, 内村各囑託, 上田編輯事務員

- 1. 第29卷第7號及第8號登載原稿謝禮原案通り決定
- 2. 第29卷第7號及第8號登載論文の討議依頼先決定
- 3. 原稿審査報告及第29卷第11號登載原稿決定
- 4. 第30卷以降土木學會誌企畫に關する意見の交換
- 5. 編輯部事務分擔決定

北海道支部記事

幹事異動

退任 神戶 浩君 新任 谷川會治君

中國四國支部記事

役員異動

評議員 新任 成松清雄君

その他記事

土木學會誌第29卷第9號を發行成規の手續を了し會員に配布せり

入會及轉格會員

特別會員 (入會)

華北交通株式會社	宇佐美 寛彌	平井 喜久松	1 級
塘沽新港々灣局	三浦 七郎		〃
青島埠頭株式會社	浦生 勇次	木曾 正道	安達 虎之助
	稻浦 直藏		2 級
臺灣拓殖株式會社	加藤 恭平		1 級
北京特別市公署	林 志 琇		〃
北京電車股份有限公司	張 玉 衡	薛 允 尙	蔭 齡
			3 級

正會員 (入會)

淺田 保司	今村 實	梅澤 友二郎	甲斐 弘道	久原 中吾	下村 六郎
谷口 政芳	豊田 勝藏	橋爪 正男	堀井 信太郎	八ヶ代 政市	山内 正三

准會員 (入會)

飯 森 茂	栗山 榮記	竹山 長淵	野田 榮次	橋川 丈夫	村上 源次
吉本 正男	秋山 隆靜	安土 重則	青山 知義	伊藤 清二	池田 富彦
森村 柳太郎	小島 政雄	大坪 一馬	大場 俊一	金子 彌太郎	木下 義一
菊地 榮	栗山 巳紀雄	小柳 直治	兒玉 豊次郎	吳 建 鋒	佐藤 敏夫
齋藤 明	徐 進 福	田邊 正吾	高橋 美雄	高山 達郎	手塚 八十二
禿末 不羈	鳥 巢 英一	中間 喜藏	新保 健夫	西村 精一	濱崎 洲一
福永 頼助	船越 泰助	吉田 征雄	細田 初一	間 瀬 敬	前田 長俊
宮崎 禎治	森 知 行	湯佐 伊勢松	吉澤 孝二		

學生會員 (入會)

金子 義之	川口 權吾	許 金 燦	久保田 透	崎 村 來	住 吉 康 伸
-------	-------	-------	-------	-------	---------

高倉康明	長崎泰二	小笠原鷹男	小野寺貴	赤間喜平	岩本幸三
江藤雄	海老名清八	梅田在泳	大森健治	押野順一郎	笠松矯
金林龍基	金本炫泰	神山普一	國本根	小林誠一	吳村善次
佐々木信男	佐野開之助	神保正義	鈴木健次郎	田中延道	田村榮
高島徳元	高田照二	高橋健太郎	高橋昇	谷崎一雄	陣平山
遠田武一	中城徳治	並松武雄	橋本博成	平原篤典	西山口
平山福太郎	三浦惣憲	宮下修盛	米村允四郎	渡邊安廣	津島昌夫
花房邊	東憲	堀田盛登	松野四郎	室津	

土木學會會員數

名譽會員	正會員	准會員	學生會員	特別會員	贊助會員	合計
5	4628	6592	2510	190	25	13945

正會員 安藏善之輔君、稻田 隆君は昭和 18 年 3 月避難逝去せられたり
本會は靈前に弔詞を呈し恭しく哀悼の意を表したり

正會員 矢敷喜作君は昭和 18 年 5 月 29 日アッツ島に於て戦死せられたり
本會は靈前に弔詞を呈し恭しく哀悼の意を表したり

正會員 菅原修雄君、山上恒介君の訃報に接す 本會は恭しく哀悼の意を表す

准會員 柿沼光輝君は昭和 18 年 6 月 13 日戦死せられたり 本會は靈前に
弔詞を呈し恭しく哀悼の意を表したり

准會員 木村爲一君は昭和 17 年 6 月 13 日南方戦線に於て戦死せられたり
本會は靈前に弔詞を呈し恭しく哀悼の意を表したり

准會員 古賀眞平君は昭和 18 年 1 月 24 日南太平洋戦線に於て戦死せられたり 本會は靈前に弔詞を呈し恭しく哀悼の意を表したり

准會員 中村重信君は昭和 18 年 8 月 1 日戦病死せられたり 本會は靈前に弔詞を呈し恭しく哀悼の意を表したり

准會員 池上正夫君、日高貞雄君の訃報に接す 本會は恭しく哀悼の意を表す



故 名譽會員 工學博士 野村 龍太郎君

故 名譽會員 工學博士 野村龍太郎君略歴

野村龍太郎君は安政六年正月大垣に生る。明治十四年七月東京大學理學部土木工學科卒業後東京府に入り、十九年十月鐵道技師に任ぜられ、二十九年一月遞信技師に任ぜらる。二十九年十一月鐵道事業視察の爲め歐米各國へ差遣せられ、三十一年二月歸朝、三十一年三月遞信技監に任ぜられ、高等官二等に叙せらる。三十二年三月工學博士の學位を授けられ、四十年十二月鐵道院建設部長を命ぜらる。四十二年六月鐵道院技監に任ぜられ、高等官一等に叙せらる。同年七月勳二等に叙せられ、四十二年九月鐵道院職員中央教習所長兼教頭を命ぜらる。四十四年三月歐米各國へ差遣せられ、同年十二月歸朝、大正元年十月鐵道院運輸局長を命ぜられ、二年五月鐵道院副總裁に任ぜらる。同年九月從三位に叙せられ、同年十二月南滿洲鐵道株式會社總裁を仰付らる。三年一月特旨を以て位一級を進められ正三位に叙せらる。同年二月土木學會副會長に選任せられ、五年勅旨を以て錦鷄間祇候を仰付らる。六年二月土木學會々長に選任せられ、昭和十六年二月土木學會名譽會員に推舉せらる。又鐵道會議員、南滿洲鐵道株式會社設立委員、港灣調査委員等を仰付られ、電力輸送調査委員會委員長、鐵道信號規格調査委員會委員長、鐵道運輸規程改正調査委員會委員長等を命ぜらる。

君は官界にありては鐵道院技監、鐵道院副總裁として我邦鐵道事業の發達に貢獻する所大なり。又土木學會々長、帝國鐵道協會々長、鐵道會議員其他各種委員或は東京地下鐵道株式會社其他の社長として本邦土木界の爲め盡瘁せられ其の功績赫々たり。

高齢疾を得て遂に起たず、昭和十八年九月十八日赤坂區新坂町の邸に薨す。享年八十有五。

既刊會誌殘部内譯

(昭. 15. 9. 現在)

(* は殘部有るものを示す)

卷 號	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	金額 (1 部)
6	—	—	—	—	—	*	—	—	—	—	—	—	2.00
7	—	*	*	*	—	—	—	—	—	—	—	—	2.00
8	*	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2.00
9	*	*	*	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2.00
10	—	*	*	*	*	—	—	—	—	—	—	—	2.00
11	—	*	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2.00
12	—	*	*	—	*	—	—	—	—	—	—	—	2.00
13	—	*	*	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2.00
14	—	*	*	*	*	*	—	—	—	—	—	—	2.00
15	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	1.00
16	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	1.00
17	*	*	*	*	*	—	*	*	—	—	*	—	1.00
18	—	—	—	—	*	*	*	*	*	—	—	—	1.00
19	*	*	*	—	*	*	—	—	*	*	—	*	1.00
20	—	*	—	—	—	—	—	*	—	—	—	—	1.00
21	—	—	*	*	—	—	*	—	*	—	—	*	1.00
22	—	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	1.00
23	—	*	—	*	—	—	—	*	*	*	—	*	1.00
24	*	*	—	*	—	—	—	*	*	—	—	—	1.00
25	—	*	—	—	—	—	*	—	*	—	—	—	1.00
26	—	*	—	*	—	—	—	*	—	*	*	*	1.00
27	—	*	*	*	—	*	*	*	*	*	*	*	1.00
28	—	*	*	—	—	*	*	*	*	*	*	*	1.00
29	*	*	*	*	—	*	*	—	—	—	—	—	1.00
第 20 卷第 12 號 (創立 20 周年記念號)													1.50
第 21 卷第 7 號 (會誌索引付)													1.30
大正十二年關東大地震震害調査報告書 (1, 2, 3)													18.00
鐵筋コンクリート標準示方書													1.20
同上 解													
土木工學論文抄録第一輯													3.50
土木工學論文抄録第二輯													5.00
土木學會誌索引 (第 1 卷第 1 號~第 20 卷第 12 號)													0.50
土木工學用語彙													2.50

上記殘部會誌其の他の刊行物御希望の場合は所定金額を振替口座東京 16828 番にお拂込み下さい。